

2019 チャリティTシャツ報告書



全国鐵構工業協会 青年部会

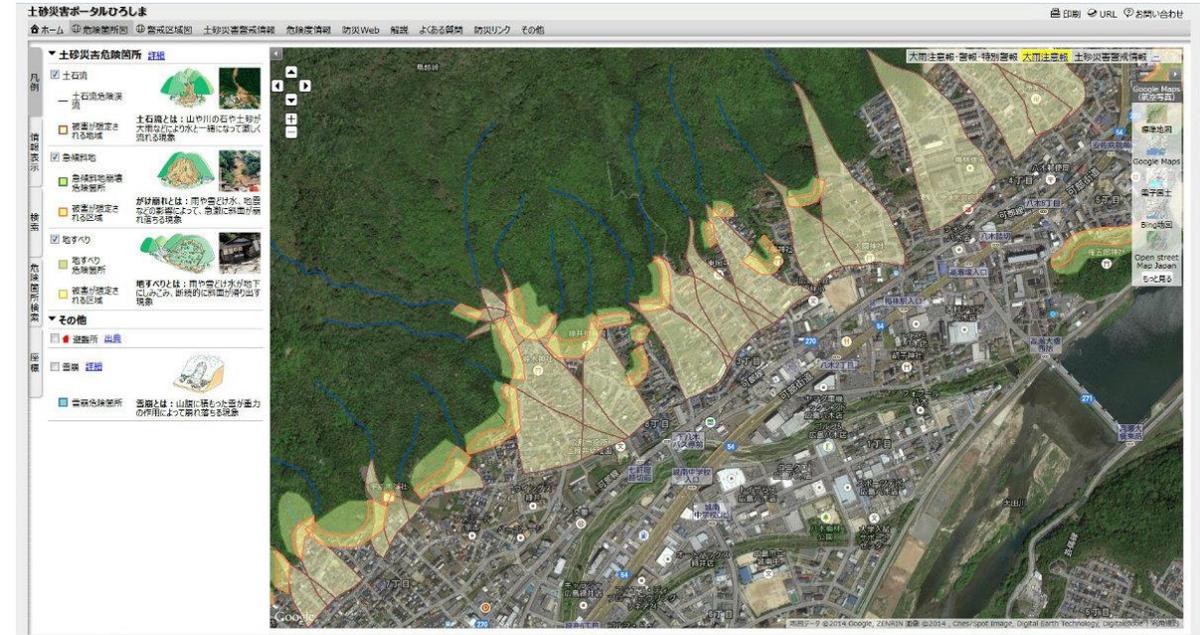
関東ブロック協議会

趣旨

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）で被害のあった青年部会員に何かしらの協力が出来ないのか？

という協議の中、青年部の団結や一体感を享受しつつ、微力でも手助けになればと、Tシャツを作成する。

その趣旨に賛同頂ける会員に働きかけ、その収益の一部（経費を引いたもの）を義援金として被災会員に渡せるようにする。



Tシャツデザイン



バックデザイン



北海道フロント



東北フロント



北陸フロント



関東フロント



中部フロント



近畿フロント



四国フロント



中国フロント



九州フロント

掲載記事等

会 青 全 青 宮崎県立産業技術専門学校へ 「鉄骨バカTシャツ」を贈呈

全国鐵構工業協会 青 松、金子洋士校長）へ贈
年部会（会長＝中原稔・ 呈した。
宏和工業社長）はこのほ 全青会理事が9月に九
ど、全青会・関東プロッ 州ブロック会事業で同校
ク協議会が昨年度に企画 を視察した際、中原会長
・販売したチャリティー が着用していたTシャツ
Tシャツ「鉄骨バカTシ に同校実習生が関心を示
ャツ」を宮崎県立産業技 し、鉄骨に対する「純粋
術専門学校（西都市大字右 な愛情」を感じたことか
ら贈呈を決めたもの。



▶金子校長（右端）へ
「鉄骨バカTシャツ」を贈呈

中原会長は「全国
に鉄骨を愛し、その
仕事に励む人たちが
いること、そして業
界の未来象を実習生
たちに示したかつ
た」と語る。

金子校長は謝辞の
後、「『鉄骨バカ』
という言葉に『鉄骨
を極める』というメ
ッセージを感じる」
と述べた。

備えていく」とあいさつを
述べた。宴席では賛助会員
とを交えつつ、歓談した。

会が発表している「こ
注意！鉄骨工事管理のポイ
ント」をテキストに講義。

元日建設・津山氏が講演
埼玉で「研修事業」
全青会、関東プロッ
ク協議会（会長＝
小泉学・コイ
ズミ工務部
長）は2日、
埼玉県熊谷市
のキングアン
パサダーホテル熊谷で役員
会と「平成30年度研修事
業」を実施した。

役員会では、当日のスケ
ジュールや役割分担を最終
確認、5月25日に実施する
津山氏は「より良い品質で
製品を合理的に作るな
況を検討した。一方、継続
審議となっていたチャリテ
ィーTシャツは、試作品を
もとにデザインを決定、総
会での販売をめどに制作す
る数やサイズなど詳細を話
めていくとした。また、フ
ルハーネス型安全帯や働き
方改革、各県の状況などに
ついて情報を交換した。

引き続行われた研修事
業には、1都9県の青年部
会員約70人が参加。小泉会
長は「働き方改革やハーネ
ス型安全帯への移行などに
応じなければならぬこと
は多いが、青年部らしく、
みんなで情報交換して業
界を盛り立てていきたい。
今回の研修会では鉄骨製
作を改めて学ぶが、こう
した技術的な話も経営者
として重要だと思うので
しっかりと学んでほしい」
とあいさつを述べた。

局
験が組合員の皆様
のお役に立てはと
思っている」と述べた。

◆ ◆ ◆
写真はあいさつする橋本
氏（左）と倉科支部長
（右）

各社による取り組み報告な
どを交えつつ、歓談した。

津山氏は「より良い品質で
製品を合理的に作るな
況を検討した。一方、継続
審議となっていたチャリテ
ィーTシャツは、試作品を
もとにデザインを決定、総
会での販売をめどに制作す
る数やサイズなど詳細を話
めていくとした。また、フ
ルハーネス型安全帯や働き
方改革、各県の状況などに
ついて情報を交換した。

引き続行われた研修事
業には、1都9県の青年部
会員約70人が参加。小泉会
長は「働き方改革やハーネ
ス型安全帯への移行などに
応じなければならぬこと
は多いが、青年部らしく、
みんなで情報交換して業
界を盛り立てていきたい。
今回の研修会では鉄骨製
作を改めて学ぶが、こう
した技術的な話も経営者
として重要だと思うので
しっかりと学んでほしい」
とあいさつを述べた。



1都9県から約70人が参加

収支報告

Tシャツ代金より
製作費 版下 経費（栃木県）等を
引いた金額をチャリティ金額とする。

						2020.03
チャリティTシャツ計算書						
チャリティ合計金額					¥	199,720
収入						
月日	品名	数量	単価	金額		
	Tシャツ 3L・4L	56	3,350	187,600		
	Tシャツ S・M・L・LL	458	3,000	1,374,000		
			小計	1,561,600		
			合計	1,561,600		
支出						
月日	品名	数量	単価	金額		
	Tシャツ 3L・4L	56	2,400	134,400		
	Tシャツ S・M・L・LL	458	2,250	1,030,500		
	データ版下	1	10,000	10,000		
	各地域毎版下	9	1,000	9,000		
	送料・手数料	514	150	77,100		
			小計	1,261,000		
			消費税額	100,880		
			合計	1,361,880		
チャリティ金額合計						
¥ 1,561,600		-	¥ 1,361,880	=	¥ 199,720	

今後の展望・反省点

<良かった点>

青年部会員間の絆が強固になった。

青年部活動のPRしての一翼も担えた。

<改善点>

災害援助という即時性に対応出来なかった事によって、

他の災害が発生した場合に臨機応変な対応が出来なかった。

継続性も含めた検討の余地が残った。